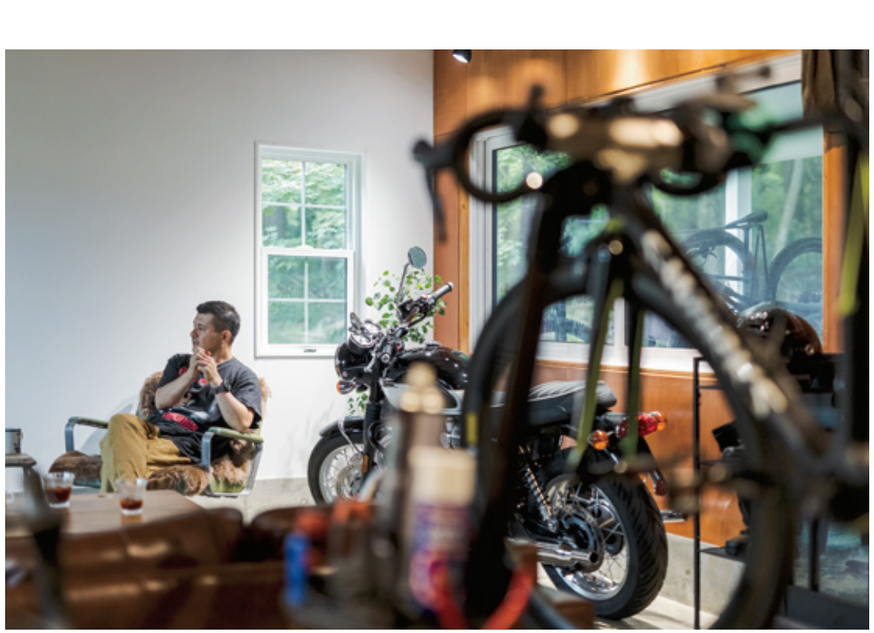
# BUILD AND GROW A GARAGE HOUSE

Builder：BlackPepper　Place：信濃町　Family：夫婦、子ども２人

## 仕事も遊びも楽しむ
## ガレージハウスの暮らし

長野県の北端、山々に囲まれ、野尻湖を擁する信濃町。自然豊かなこの町で、Hさんが母屋の隣に建てたのは、BlackPepper の住宅ブランド「Garage House」です。仕事場であり、遊び場であり、友人が集まる第二の棲家。プロが手がけた建物に自ら手を加え、好きなものを詰め込みました。大人の遊び心をくすぐる、秘密基地のような空間を訪ねます。



### 自分らしい日常が
### 商品の魅力を伝える背景に

部屋の真ん中には２台の自転車、ソファの隣にはバイク、壁にはギター、天井にはスノーボードやスキー板。趣味の道具が並ぶこの場所は、衣料品店を営むHさんの仕事場でもあります。

店舗をスタッフに任せ、自身は買い付けやリモートでの仕事が中心に。その働き方の変化から、商品の撮影や発信にも使える空間を求めるようになりました。

「自分のライフスタイルの一部分を切り取った空間の中で、商品の魅力を表現したいと思ったんです」

たとえばブーツなら、バイクに跨った姿を撮影します。この一足を履いて、どんな時間を楽しめるのかまで伝わるように。

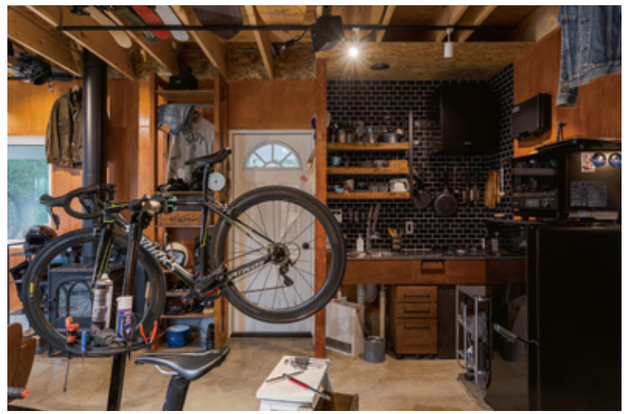
「そんなふうに、これからの仕事のことも考えてこの場所をつくりました……という言い訳をしています（笑）」

A　B　C　D

A_秘密基地のようなこの場所で、好きなものに囲まれるHさん。仕事も遊びも、自分らしい時間になっていく。　B_大切な趣味の1つ、バイク。愛車と過ごす日常のひとこまが、ブーツや洋服の魅力を伝える背景になる。　C_母屋の隣に立つ木造ガレージハウス。淡い色の外壁と白い窓枠が、緑の風景に映える。　D_自転車を持ち込み、メンテナンスを施す時間も至福のひととき。奥には、自ら手を加えたキッチンがのぞく。









E
F
G
H

E_木部は素材の色を生かしながら、艶のあるニスで仕上げて好みの雰囲気に。使い込むほどに変わる風合いも楽しみだという。 F_家具はオークションやフリマサイトを巡り、気に入ったものを手頃な価格で購入。探し上手な目で選んだ品々が、空間を彩る。 G_BlackPepperの竹内恵一さん。Hさんとは趣味も重なり、家づくりから遊びのことまで、会話が弾む。 H_自然光が差し込む窓辺には椅子やソファが並ぶ。





## つくり手の技術に、自分の手を重ねて思い描いた居場所をかたちに

注文住宅や店舗に加え、アメリカから輸入する木造ガレージの販売・施工も行うBlackPepper。住宅とガレージの両方を手がけてきた経験から提案する、新しい住まいの形の1つが「Garage House」です。これは木造ガレージの開放的な空間に、住宅としての必要な性能を備え、住む人が自分らしく仕上げていく家。

基本となる「Standard Pack」は、構造・外装・断熱・住宅設備までを備えた木造スケルトン住宅。内装はあえて施工せずに引き渡し、施主自身で仕上げるほか、プロに依頼することもできます。

Hさんは仕事場兼遊び場を求め、インターネットで各社を比較する中で同社を見つけました。自分の好きなものに囲まれた空間を、自分の手で仕上げられる。その考え方に共感し、用意された選択肢の中から、暮らしに合う広さや設備を相談しました。

母屋と行き来して使うガレージは、建物と断熱工事を同社に任せ、内装は自分で仕上げることに。DIYは、かつての店舗移転で内装を手がけたときに覚えたと言います。大工さんに道具の使い方を教わりながら、イメージを形にしていく作業に取り組みました。

今回もその経験を生かし、奥様とともに合板の下地を整え、塗装を重ねました。電気工事は専門の友人に依頼。人の力も借りながら、自分でできるところには手間をかける。その積み重ねが、この場所の表情をつくっています。









## ひとめぼれした風景の中で、自然に寄り添う毎日

埼玉県で育ち、転勤で長野県へ来たHさん。長野市で奥様と出会い、奥様の実家のある信濃町へ移りました。家を建てたのは実家が所有する山の、もとはリンゴ畑だった一角です。

「ここに来た瞬間、景色がすごくいいなと思ったんです」

隣家が近かった故郷とは違う、広がりのある風景にひとめぼれ。木を伐り、土地を整えて母屋を建て、後にガレージハウスが加わりました。今では、2つの建物を行き来する毎日です。

早朝、愛犬に起こされるところから1日が始まります。1時間ほどの散歩をして帰宅したら、コーヒーを飲んだり、プロジェクターの大画面で趣味の自転車レースを楽しんだり。それから母屋へ行き、奥様と一緒に朝食をとったら、ガレージに戻って仕事に取り組みます。夕飯ができたとLINEが届けば、また母屋へ。お風呂に入ったら、再びガレージに戻り2階で眠りにつきます。

近くに民家がなく、大きな音で映画や音楽を楽しめるのも、この場所の魅力。お店から移したスピーカーで、7.1chのサラウンド環境を整えました。その臨場感は、子どもたちが友人を招いてホラー映画の鑑賞会を行った際、怖さのあまり途中で上映をやめてしまったほど。

一方、一人でくつろぐときには、音楽をかけずに過ごすこともあるといいます。

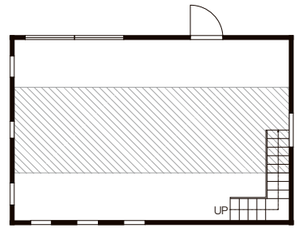
「いつでも音楽を楽しめるようになったら、自然の音を聴くのもいいなと思うようになったんです」

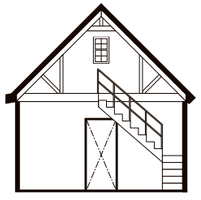
季節ごとの自然の音に耳を澄ます。それも、この場所ならではの贅沢です。

I　J　K/L

I_ガレージの軒下にはテーブルと椅子を置いてくつろぎの場所を。足元には愛犬が寄り添い、緑を眺めながらのコーヒータイム。　J_夏は野尻湖でSUP、冬は雪山でスキーやスノーボード。遊びのフィールドが身近にある、信濃町での暮らし。　K_広々とした庭を、うれしそうに駆け回る愛犬。のびのびと遊ぶ姿からも、この場所で過ごす幸せが伝わってくる。　L_住まいを囲む広大な森を、いつかドッグランにしたいと話すHさん。少しずつ手入れを続けているという。

PLAN



= 2階部分







M | P | Q
N | R | S

M_屋根の形を生かした2階には、好きな洋服がずらり。奥の小窓の下にはベッドを置き、収納と寝室をひと続きに。　N_ホームセンターで材料を集め、自作したキッチン。タイルに見える部分はステッカーを使うなど、素材を工夫して取り入れた。　O_母屋へ続く渡り廊下にも、アウターやバイク用品が並ぶ。ここにも、Hさんの好きなものがあふれる。　P_椅子のすぐそばに愛車がある。磨いたり、眺めたりしてくつろぐ時間も、ガレージで過ごす楽しみのひとつ。　Q_少しずつ集めた家具に、使い込まれた道具。異なる表情が重なり、Hさんらしい空間になっていく。　R_細かく仕切らず、使い方を決めすぎない空間。人が集まる日には、自転車を移動し、大きな合板をテーブル代わりに。　S_Garage Houseの生みの親である竹内さんと、内装に手を加えてきたHさん。二人の工夫が重なり、仕事も遊びも楽しめる場所が生まれた。





## つくり方を選び、暮らしながら育てる家

階段を上がると、屋根の形に沿って木の構造が連なる2階へ。屋根裏部屋に潜り込むような楽しさがあるこの空間は、BlackPepperがスタンダード仕様として用意する「アティックスペース」。Hさんはこれを選び、洋服をかける収納に工夫を加え、寝室としても使っています。

用意された空間をどう使い、どう仕上げるか。Garage Houseには、住む人が考え、手を加えられる余地があります。壁を好きな色に塗ったり、家具で空間を分けたり。素材そのままのラフな表情を楽しむこともできます。内装をBlackPepperや工務店、職人に任せる場合も、予算や好みに合わせて相談できます。誰かに仕上げを任せる場合も、好きな素材や色を選ぶ楽しみは住む人のものです。もちろん建物と一緒に家具の相談にも対応しています。

Hさんの内装も、まだ完成ではありません。仕事をして、遊び、眠る日々の中で、使いやすいように手を加えていく。手をかけた分だけ、愛着も深まります。時間をかけて自分の好きな場所に育てる楽しみが、このガレージハウスにはあるのです。





株式会社 BlackPepper　長野市吉田 5-18-25 SUBURBAN　026-219-2489　https://www.black-pepper.jp